

令和3年度 事業計画書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

特定非営利活動法人 国際総合研究機構

1 事業実施の計画

- (1) 科学技術、文化、教育事業として、生体計測、統合代替ホリスティック医療、人間の潜在能力、理念政策、未来予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及を行なう。
- (2) 保健、医療、福祉、町創り事業として、健康づくり、医療画像診断支援、保健・医療・看護・介護・福祉に関する教育・普及、「いやしのビル」計画・拠点・街創りの企画・推進、等を行なう。
- (3) 国内・国際交流事業として、国内外の一般人、学術研究者を対象とした、生命情報科学シンポジウム、関連出版支援等を行なう。
また、人的並びにITを活用した、種々の交流支援事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
科学技術、文化、教育事業	生体計測、統合代替ホリスティック医療、人間の潜在能力、幸福社会理念政策、未来創造予測、先端科学技術等による支援、等に関する研究と成果の普及、等	通年	千葉、東京、全国の研究機関、等	200	国内外一般人多数	2,000,000
保健、医療、福祉、街創り事業	健康づくり(長谷)、医用画像診断支援、等(弘前)、統合代替ホリスティック医療とその研究・教育・普及、「いやしのビル」計画・拠点・街創りの企画・推進、等	通年	長野、弘前、千葉、東京、等	200	国内外一般人多数	5,000,000
国内・国際交流事業	国内外の一般人、学術研究者を対象とした生命情報科学シンポジウム開催・関連出版等支援、等 また、人的並びにITを活用した、種々の交流支援事業を行う。	通年	東京、神奈川	80	国内外研究者、一般人多数	100,000

本部 ならびに 情報・研究センター 計画

本部 計画 (在 千葉市稲毛区園生町)

事業計画の推進 以下の当法人の事業計画を統括し、推進する。

他法人の設立推進

「一般財団法人」の新設か、既存の一般財団法人を利用かを情勢を見極め決断する。

この中で、「(仮称)国際総合研究機構(IRI)」や「(仮称)IRI 潜在能力科学研究所」の設立をし、今後この分野の世界一の研究所化を目指す。

他法人を設立しても、現在のNPO法人は、弘前支部の活動等のために当面残す必要がある。

・IRI総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任する。

本拠ビル計画 (仮称)「いやしのビル」構想 を、具現化する。

2020年11月からは、他財源を活用して、長年の夢である本格的**大型ビル**として「いやしのビル」の**実現**の可能性が出て来た。山本理事長を中心に、その設計プラン作りに忙殺されている。詳細は本部移転計画の項に記す。

本構想の建設自体は他資金にて行うので、当機構としては、巨額の予算計上は行わない。

・IRI総会は、例年のように、本件の具体化は理事会に一任する。

人的並びに IT を活用した種々の交流支援

人的並びに IT 技術を活用した種々の交流支援活動で、可能なものを模索し実施する。

特に、大学や他の研究機関との連携、海外の高名大学との連携は、優秀な人材確保のためにも急務で、可能性が出て来たので、推進する。

人材の公募

研究・技術・建築設計士・IT 広報・事務・秘書・院長候補・事務長候補など、各種人材の公簿を実施中 (ホームページ参照)。

心療内科・総合内科等クリニック・検診センター・研究所(合計診療室 10 以上、心理カウンセラー室 20 程度、大型診断機器 10 台以上)を開設するための準備として、創立期院長に帯津良一 帯津三敬病院名誉院長にご就任頂いた。より若い院長候補を公募中。より若い院長が定まった場合、帯津先生には名誉院長にご就任頂く計画。

勤務地は、当面は千葉市稲毛区 JR 総武線 快速停車駅 近辺。

自薦、他薦者は、山本幹男理事長まで、nsnpoiri@gmail.com 090-9232-9542 Fax 043-255-9143

書類送付先： 理事長分室 〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台 2-13-31 Peace 山本幹男

情報・研究センター 計画 (中心 本部内、 分室、支部その他各地に分散)

- ・先端科学技術等・街創り等に関する研究・教育・普及・推進・支援を、資金導入量に従って実施する。
- ・国際生命情報科学会主催 「生命情報科学シンポジウム」、関連出版等支援
- ・「第 52 回」2021 年 8 月 22 日 (日) 開催予定 (Zoom 学会) を共催し、支援する。 当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌 「Journal of International Society of Life Information Science」 Vol. 39, No. 2 の製作支援を行なう。
- ・「第 53 回」2022 年 3 月 20 日 (日) Zoom 学会にての開催予定。(日にちが今後変更となることもある) を共催し、支援する。 当シンポジウムの予稿等を掲載した学会誌「Journal of International Society of Life Information Science」 Vol. 40, No. 1 の製作支援を行なう。
- ・その他は、前年度を継続する。

弘前支部 計画

1. 読影医の読影件数に制限があるため、件数増は見込めない中ではあるが、今後とも、依頼施設及び読影医との連携を深め、質の高い読影レポートの提供により、地域放射線医療に貢献していく。
2. 今期の計画
 - 1) 既存施設の深堀を進めるため、関係者との良好な関係を構築し、レポートの満足度向上を図る。
 - 2) 読影医の意見も反映させながら、遠隔読影のシステムのセキュリティ及び読影環境の向上を目指す。
 - 3) コロナ禍においては、衛生的にも安全に読影できる環境を読影医に提供していく。

以上

長谷支部 計画

事業名	健康づくり事業
事業内容	地域活性化を図った「長谷気の里」構想の研究の中で、気功を活用し た、健康づくりの調査研究
実施日	令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日
実施場所	長野県伊那市長谷地域、及び岐阜、東京等
従事者の数	10 名

受益対象者の範囲人数 研究者、伊那市長谷地域外一般人 多数
収 入 110 千円
支 出 110 千円
内 容 :

長谷 気の里構想の一環として、分杭峠に発見された気場や人間の発する外気功等で施療を行い、健康づくり、予防医療や予防介護等の調査、研究を行う。

以上

1.5 本部移転計画 <理事会/総会 審議事項⑤>

2020 年春に、千葉市稲毛区の総武線快速停車駅(東京駅より快速で約 35 分)の現本部と反対側の西口 3 分に約 500 坪の土地が売りに出て、本部やクリニックも含む中規模「いやしのビル」構想の延床面積約 1,000 坪のプランを山本理事長を中心に作成したが、残念ながら、この土地はマンション業者に先に買われてしまい、実現しなかった。現在業者のマンション建設中。

そこで、2020 年 1 月に山本理事長個人が取得済みの、同じ稲毛駅の現本部と同じ側の東口徒歩 5 分の小規模な土地に、本部や中小規模「いやしのビル」構想を含む小規模ビル(上記の約 1/3 の延床面積)プランを山本理事長を中心に作成し、建築確認申請済。

別資金にて、建設予定で、準備工事を進めたが、下記が実現すると、全機能がそこに含まれてしまうので、再考中。

2020 年 11 月に、大型ビルの建つ土地が持ち込まれ、念願であった大型「いやしのビル」ビル(研究所を含む)の設計プランをかなり進めたが、土地の売手の意志が不透明となっている。

別の巨大な土地の話もあり、こちらにも設計プラン中。

現時点では、日々情勢が変化しているので、詳細が提示出来ないが、資金面を含めて、前進している。

総会当日には、より進展した話が出る事を期待している。

予定用途: 国際総合研究機構(**IRI**)・国際生命情報科学会(**ISLIS**)等の本部、心療内科・総合内科等クリニック・検診センター・研究所(合計診療室 10 以上、心理カウンセラー室 20 程度、大型診断機器 10 台以上)、シンクタンク、情報発信、集会、交流、レストラン、「いやしのビル」の一部機能(各種健康増進、太極拳、気功、ヨガ、瞑想、卓球、各種代替ホリスティック医療の広場・ブース(各種募集中)、ダンス、音楽、等)、宿舎

建設地: 東京駅から総武線快速で現場迄 40 分程度の場所

完成すれば、**IRI**・**ISLIS**等の現本部は、新築ビルに移転する。
現本部は主として実験に使用。